

プレスリリース

-餓鬼の断食 2年ぶりの本公演は“すくい”を巡る群像悲喜劇-

ロームシアター京都×京都芸術センターU35 創造支援プログラム“KIPPU”

餓鬼の断食 vol.5 『DOGHOUSE』



フライヤーデザイン：のもしゅへい

リード文

関西を中心に活動する若手最注目劇団、餓鬼の断食。

そんな餓鬼の断食の約 2 年半ぶり(※)となる新作本公演が、2025 年 12 月 5 日(金)から 12 月 7 日(日)まで、ロームシアター京都ノースホールで上演される。

新作書き下ろしとなる本作は、

関西を中心に活躍するベテランから若手まで幅広い年齢層の俳優らとともに、

山奥にある寂れた集落にぽつりと佇むお寺を舞台に、

その土地に生きる人々と“すくい”を巡る群像悲喜劇を立ち上げる。

記録映像は、昨年に初長編作品『地獄の SE』がポレポレ東中野にて連日満員のロングラン、海外でもアワードを獲得し話題となった映画監督 川上さわとタッグを組み、フライヤーデザインは第 1 詩集『通知センター』(思潮社)が第 30 回中原中也賞最終候補に残り、コミック『おばけのおいしいひと休み』(KADOKAWA)で話題を呼んだ作家 のもとしゅうへい氏による特別書き下ろしイラスト。

また本公演は、若手アーティストの発掘と育成を目的に、京都芸術センターとロームシアター京都が協働して行う『U35 創造支援プログラム“KIPPU”』採択事業である。

※前回の新作本公演は、2023 年 7 月に上演した餓鬼の断食 vol.4 『空白/I face my void.』

公演詳細(テキスト情報)

ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラム “KIPPU”

餓鬼の断食 vol.5『DOGHOUSE』

脚本・演出：川村智基（餓鬼の断食）

・公演日

12/5(金)15:00○/19:00○

12/6(土)13:00☆/17:30

12/7(日)13:00

○入場者特典あり。（のもしゅうへい書き下ろしビジュアルミニカード）

☆託児サービスあり。

※未就学児の入場不可。有料の託児サービスがございます。詳しくはロームシアター京都のホームページをご確認ください。

※車椅子でご来場のお客様は下部にございますお問い合わせまでご連絡ください。

・チケット料金

一般 3,500 円

U-30 3,000 円※1

学生 2,500 円※2

応援 10,000 円

当日券 各種+500 円

※1 年齢を確認できる証明書を当日受付にてご提示ください。

※2 学生証を当日受付にてご提示ください。

・チケット取扱窓口

ロームシアターチケットカウンター

TEL：075-746-3201

（窓口・電話ともに 10:00～17:00/年中無休※臨時休館日などにより変更の場合あり）

京都コンサートホールチケットカウンター

TEL：075-711-3231

（窓口・電話ともに 10:00～17:00/第一・第三月曜休館※祝日の場合には翌日）

京都芸術センター事務所窓口

（10:00～18:00）

ロームシアター京都オンラインチケット

<https://www.s2.e->

[get.jp/web5ap04b/pt/?G=k1yo2to3&app=s4gt0&RTNfld=kyoto&RTNent=pe&RTNmyp=pm&RTNtik=pt&s=25120551tr&k=1b26f747fc54f435906f2c60da9d0529b8cedd04mgxtmdhg](https://www.s2.e-get.jp/web5ap04b/pt/?G=k1yo2to3&app=s4gt0&RTNfld=kyoto&RTNent=pe&RTNmyp=pm&RTNtik=pt&s=25120551tr&k=1b26f747fc54f435906f2c60da9d0529b8cedd04mgxtmdhg)

CoRich 舞台芸術！

https://stage.corich.jp/stage/396955/ticket_apply

・会場

ロームシアター京都 ノースホール

〒606-8342 京都府京都市左京区岡崎最勝寺町1-3

・アクセス

京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分

市バス32・46系統「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

市バス5・86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分

市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

・あらすじ

山奥にある、さびれた集落。

ポツリ、と佇むお寺があった。

そこに住む一家と、そこに集まるみんな。

分かりあったり、あえなかったり。

"すくう"って、救済じゃなくて、掬い上げることちゃうん？しんどいか。

・キャスト

秋庭悠佑、川口隼弥、木全晶子、熊谷帆夏（劇団アンゴラ・ステーキ）、坂口修一、下野佑樹（[フキョウワ]）、永津真奈（Aripe）、風雅ひかる子（舞夢プロ）

・スタッフ

舞台監督：村田瞳子

照明：植田悠子

音響：池田翔

舞台美術：小林新（劇団ケッペキ）

演出助手：田中陽太（ベイビー・ラン）、入江拓郎（THE ROB CARLTON）

ドラマトウルク：キャメロン瀬藤謙友

記録映像：川上さわ

フライヤービジュアル：のもしゅうへい

プロデューサー：堀綾花（餓鬼の断食）

制作：渡邊裕史（ソノノチ）、餓鬼の断食制作部

協力：合同会社 nochi、舞夢プロ、（有）ライターズ・カンパニー

主催：餓鬼の断食

共催：ロームシアター京都（公益社団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都芸術センター（公益社団法人京都市芸術文化協会）、京都市

助成：芸術文化振興基金

代表コメント：川村智基(餓鬼の断食)(作・演出)



約 2 年半ぶりとなる、餓鬼の断食の本公演。今作は、とある限界集落の寺社を舞台に、そこに住む家族と友人らの関係で紡ぐ群像劇です。個人的なテーマは、現在の日本と、人間の身体。日本が現在陥っている諸問題について、細胞の働きなどを参考にしながら切り込んでいきます。餓鬼の断食の1つの代表作となる予感です。

是非、劇場にてご覧くださいませ。

プロフィール

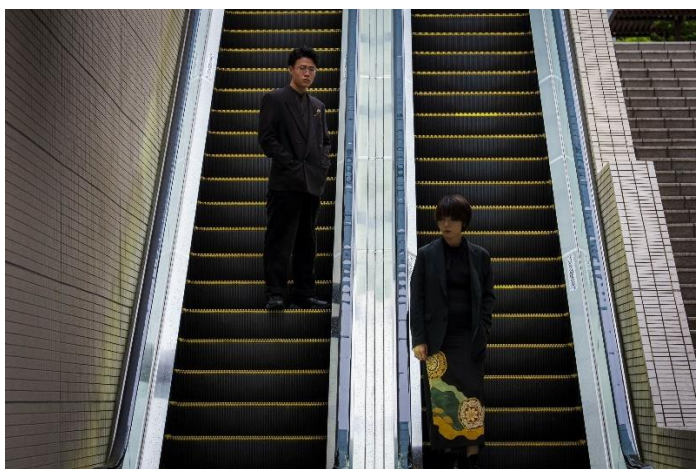
2001 年生まれ。奈良県出身。劇作家、演出家、俳優。

2021 年より劇団『餓鬼の断食』代表。2024 年より西陽〈ニシビ〉プロジェクトメンバー。関西弁のスラングにまみれた口語のテキストを、矢継ぎ早に捲し立てる会話劇の作成や、他ジャンルのアーティストと協働し既成戯曲の演出に対する取り組み、ダンサーや振付家、ドラマーやサウンドアーティストらと協働し、演技表現の延長線上にあるダンス表現を模索するなど、多岐に渡り取り組む。

『WINGCUP2021』最優秀賞、『関西演劇祭 2023』ベスト演出賞、『クマ財団クリエイター奨学金』8 期、9 期生採択、ロームシアター京都×京都芸術センター U35 創造支援プログラ“KIPPU”2025 年度採択など。

団体概要

餓鬼の断食(がきのだんじき)



【1枚目】メンバー：川村智基(左)、堀綾花(右)



【2枚目】団体ロゴタイプ

2021年に川村智基が旗揚げ。団体名の「餓鬼の断食」はことわざから。意味は当然のことをことさらに言い立てて人前を繕うことのたとえ。スラングを多用したハイテンポの会話劇によって、現代を生きる人々の内面を丁寧に描き出す。近年では、演技表現の延長線上にあるダンス的身体性の獲得を目的とした創作にも取り組む。

公演記録写真



1枚目：餓鬼の断食 秋の3都市ツアー(2024年9月-10月)より、企みその1『Fusion,(フュージョン、)』

2枚目：初期2部作再演ロングラン公演(2025年5月)より、vol.4.5『対岸は、火事』

3枚目：豊岡演劇祭フリンジ セレクション参加作品(2025年9月)より、企みその2『STUDY| -修飾を歓迎する環境←→拒否する身体-』

さいごに

資料請求や、取材、稽古場の見学など、なにかございましたら些細なことでもお気軽に下記までお問い合わせくださいませ。

本プレスリリースをご覧いただき、誠にありがとうございました。

メールアドレス：gakidan.gekidan@gmail.com

電話番号：08021107142（制作部）

公演資料ダウンロード：<https://89.gigafile.nu/1209-573c4b20256df18cb210ad306897a472>

